

さまざまな問題がひしめく現代社会の中で、浄土真宗、そして宗教者のあり方を実践的に考えることを目的に、2009年、新たに「実践真宗学研究科」が、龍谷大学大学院に創設されました。その設置趣旨に、「宗教的实践の研究者」「専門的实践者」の育成が目的とありますように、現在に至るまでの10年間、本研究科では宗教実践の研究を推進するとともに、多岐にわたる現場で活躍する宗教者を、修了生として送り出し続けています。

このたび、本研究科が創設10周年を迎えるにあたり、関係者・修了生をはじめ、宗教者の実践活動に心を寄せる皆さまが、一堂に会する記念行事「いまを生きる宗教～宗教者×現代社会～」を開催する運びとなりました。この記念行事を通して、本研究科の10年の歩みを振り返ってその原点を確認するとともに、現代に求められる宗教実践への新たな挑戦に向けて、皆さまとともに考え、交流する時間を持つことができればと願っています。多くの皆さまのご来場を、心よりお待ちしております。

第1部 式典(報恩講法要)・記念講演



・式典(報恩講法要)

13:00～13:45

・記念講演

「私は何処から来て
何処に行くのか」

13:45～14:45

【講師】

なこし やすふみ

名越康文氏

精神科医・相愛大学客員教授

【略歴】

1960年、奈良県出身。近畿大学医学部卒業。専門は思春期精神医学、精神療法。大阪府立中宮病院(現：大阪精神医療センター)で精神科救急病棟を設立、同責任者を経て、1999年に退職。その後も臨床に携わる一方、精神科医の領域にとどまらず、テレビ・雑誌・ラジオなど多くのメディアで、コメンテーター・映画評論・漫画分析など幅広く活躍中。

【著書】

『生きるのが"ふっ"と 楽になる13の言葉』(朝日新聞出版、2018年)
『驚く力 矛盾に満ちた世界を生き抜くための心の技法』(夜間飛行、2017年)
『SOLO TIME(ソロタイム)「ひとりぼっち」こそが最強の生存戦略である』(夜間飛行、2017年)
『〈新版〉自分を支える心の技法』(小学館新書、2017年)
『「他人」の壁 唯脳論×仏教心理学が教える「気づき」の本質』(共著・SB新書、2017年)
『男はつらいよの幸福論 寅さんが僕らに教えてくれたこと』(日経BP社、2016年)
『僕たちの居場所論』(共著・角川新書、2016年)
『対人関係が一瞬で楽になる心の技術』(PHP研究所、2015年)
『どうせ死ぬのになぜ生きるのか』(PHP新書、2014年)
他、多数

第2部 シンポジウム「実践真宗学とは?～原点に返り、挑戦する。～」

・特別上映「実践真宗学研究科・10年の軌跡」 15:00～15:10

・クロストーク1 「現役生×教員」 15:10～15:50

・クロストーク2 「修了生×教員」 15:50～16:30

【登壇者】

現役生：熊鰐信行(3回生)、葛野憂利華(2回生)、足利大輔(1回生)

修了生：南條成美(2期生)、大塚雄介(3期生)、武藤自然(4期生)、吉井直道(6期生)

教員：清岡隆文、深川宣暢、殿内 恒、金澤 豊

・スペシャル音楽ライブ "LIFE SONGS公演" 16:30～17:00

LIFE SONGSとは、浄土真宗本願寺派の若手僧侶らによる、音楽伝道プロジェクトのことです。

LIFE SONGSでは、弾き語り音楽ライブを通して、「いのち」や「人生」を考える時間を共有します。

「いのち」を見つめ、仏教的な視点にも触れていきます。

〈入試日程：大学院実践真宗学研究科〉

国内外の大学卒業生、医療、社会福祉、教育などの分野で活躍している社会人など、分野にとらわれずに、安穩をもたらす宗教的实践を考え、その可能性を探究する方々を歓迎いたします。

入試種別		出願期間 (締切日消印有効)	試験日	合格発表
春期試験	一般入試	2019年1月8日(火)～ 1月25日(金)	2019年2月17日(日)	2019年2月23日(土)
	社会人入試			